

# ZARD研究所BBS

promised you をこよなく愛する ZARD FREAK 憩いの場 ♪with you ♡♡



FC2  
「なみろむ」のような作  
(1)  
2021/11/10 (9:31)

[B社が何をすべきか考える委員会](#)

[投稿規程／編集・削除方法](#)

過去ログ [8](#) [7](#) [6](#) [5](#) [4](#) [3](#) [2](#) [1](#)

[旧BBS](#)

[土ワイ](#)

[Ver.違い](#)

[歌詞の理解の為に](#)

[駅](#)

[メロ](#) [ライブ特設ページ](#)

[問い合わせ](#)

<a href="#">HOME</a>	<a href="#">記事閲覧</a>	<a href="#">記事一覧</a>	<a href="#">アルバム</a>	<a href="#">スライド</a>	<a href="#">利用案内</a>	<a href="#">管理画面</a>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

▷ [返信を投稿する](#) ▷ [新しい話題を投稿する](#)

## 愛読書「大河の一滴」 (前半)

#26346  選択 幸 (ゆき) 2021-07-11 09:31:55 返信 報告

WEZARD TV #22 ZARD/坂井泉水 心に響くことば展↓にて  
紹介された愛読書の1つを読みました。

<https://www.youtube.com/watch?v=E1oWZpZEGJI>

五木寛之著「大河の一滴」幻冬舎 1998年第1刷

以下、読まれた際にきっと気になったであろう "引用文"の  
箇所を、♪歌詞に照射して対応づけてみますね。

各楽曲のリリース年からみて、この本に歌詞が影響された

というよりは、ずっと前から同じような考え方をされてた  
気がします。命の大切さが主題かな。

近隣の図書館で借りた第1刷はTV #22のと同じベージュ色の  
表紙で、'98年以降に読まれたに違いありません。2001年に  
東宝で映画化もされたのを観られたかは??

<https://eiga.com/movie/40395/>

"それは小さな一滴の水の粒にすぎないが、大きな水の流れ  
をかたちづくる一滴であり、永遠の時間に向かって動いて  
ゆくリズムの一部なのだ...私たちはそれぞれの一生と  
いう水滴の旅を終えて、やがては海に還る。母なる海に抱  
かれてすべての他の水滴と溶けあい、やがて光と熱に包ま  
れて蒸発し、空へのぼってゆく。そしてふたたび地上へ。"

pp.25

→♪宇宙の底に 二人生きてる 「My Baby Grand」 1997

♪ちっぽけな二人は 今も 進化しづつける 「運命のルーレット廻して」 1998

"この世には「真実」もあれば「虚仮（うそ）」もある。  
それが本当だと思っている。生きる意味もあれば、むなし  
さもある。だが善き人もいれば悪しき人もいる、...ある  
ときは善意を、あるときは悪意を露出させる不確かであや  
うい存在なのではあるまいか。世間というものも、またそ  
のように揺れ動きつつ流れてゆくものなのである。...  
世の中はときに澄み、ときに濁る。いわば川の流れと同じ  
ようなものだ。" pp.49-50

→♪口がうまい人だと 誰かに聞いた 目の前の弱い人はうそなの? 「Today is another day」 1996

♪すべてが現実 すべてがまぼろし 「フォトグラフ」 1999

♪目の前の現実（いつわり）に目を伏せた 「カラットいこう」 2006

人間の値打ちというものは、生きている-この世に生まれて、  
とにかく生きつづけ、今日まで生きている、そのことがまず

あるのであって、生きている人間が何事を成し遂げたか、という人生の収支決算は、それはそれで、二番目くらいに大事に考えていいのではなからうか... pp.93

→♪かけがえのないもの それはあなたよ 「かけがえのないもの」 2004





以下の2箇所は、歌い手としての使命感のハートに火を付けられたのではないかと思います。「夜の霧」を読まれる契機（きっかけ）にもなったのかも知れません。

[[26292](#)]のインタビューで言及された、「もっと世相を反映する詞、深い楽曲を作りたい」に通じるのでは。

「夜の霧」の著者フランクルの別書「死の国の音楽隊」中の手記に書かれた内容から："汚れた手から美しい音楽が紡ぎだされることもある。そういう残酷な真実みたいものが歌の背後にもひそんでいるのだな..." pp.118

"いま歌の力も弱くなっている。なぜか。それは社会のなかのそれぞれのブロックのように固まったそのグループのなかだけで愛される歌、そういう歌だけになってしまって、気持ちが悪いという人はいるかもしれませんが、その時代を共に生きている人間全部の心にしみわたるような、そういう歌がいまはない。... しかし、そういう歌が生まれてくるときは、ぼくら日本人にとって、それは不幸な時代なのかもしれない。" pp.126

## 愛読書「大河の一滴」(後半)

#26347  選択  幸 (ゆき)  2021-07-11 09:35:34  返信  報告

"きのうも、あすも、みんな<きょう>(いま)という言葉にふくまれているのではないか。<後生の一大事>というのは<いまの一大事>ということであり、... 自分が生まれる前のこと

を考えるとというのも結局は、いまのことを考える。そこへ  
つながってゆくのではないか。" pp.129

→♪そこには過去も未来もない 今しかない 「止まっていた時計が今動き出した」 2004

"善悪、苦楽、生死、さまざまな対極するものの狭間で、振り  
子のように揺れながら、スイングしながら、一時いつときの  
<命>を輝かせながら生きてゆきたい。" pp.135

→♪揺れる想い からだじゅう感じて 「揺れる想い」 2003

"プラスとマイナスがお互い反発しあい、また引かれあうよう  
な、そういう物の考え方、両極端のどちらかでなく、<どっち  
も>という考え方を、このへんで、もう一ぺんふり返ってみた  
い..." pp.159

→♪近づくともまるで磁石のように 二人 反発しあうよ 「抱きしめていて」 2002

♪反発し合ったりでも、今は 「夏を待つ帆（セイル）のように」 2005

"人に憂いあり、というのでしょうか、どんな人間でも心のなか  
に自分だけの、他人に明かすことのできない、悲しみとか痛み  
とか、そういうものをそれぞれ抱えて生きているわけです。  
そして、その憂いを言葉で言いあらわすことは、どんな達人で  
も不可能ではないか..." pp.208

→♪言葉よりも もっと尊い痛み気づいた 「探しに行こうよ」 2003

"希望というのは、片方に絶望があって、絶望の深い闇のなか  
から一条の光がさしてくる。私たちはただ明るいかなに希望  
を求めるといってもむずかしい。やっぱり絶望とか、あるい  
は悲しみ、迷い、苦しみなどのなかで必死になって自分の心  
の触手をあたりにひろげ、なにかをつかもうとして動いている。"  
pp.222

→♪窓の外が白くなる瞬間が好き 絶望と希望の狭間で 「この涙星になれ」 1999

♪まだ僅かに 木漏れ日がゆれるから 「明日を夢見て」 2004

"時代を象徴するコンセプトが六〇年代には<ラブ・アンド・ピース>だったとすれば、これからは<トレランス>ということになるでしょう。<寛容>とは許すこと、欠点を認めることであり、そして、激励ではなく、慰めである...深刻に落ちこむこともまた、人には大事なのです。" pp.234

→ ♪愛は許すことね So I try ! 「I can't let go」 1997

♪Love & Peace 「痛いくらい君があふれているよ」 1999

ジョンレノン好きだったことは周知かと。

"<悲>はサンスクリットで<カルナー>といい、ため息、呻き声のことです。他人の痛みが自分の痛みのように感じられるにもかかわらず、その人の痛みを自分の力でどうしても癒すことができない。その人になりかわることができない。そのことがつらくて、思わず体の底から「ああー」という呻き声を発する。...孤立した悲しみや苦痛を激励で癒すことはできない。そういうときにはどうするか。そばに行っても無言でいるだけでもいいのではないか。その人の手に手を重ねて涙をこぼす。それだけでいい。深いため息をつくこともそうだ。" pp.258

→♪Hold Me そばにいて やさしくなくても構わないの 「こんなに愛しても」 1991

♪そばに居るだけで それだけでよかった 「フォトグラフ」 1999

♪心塞ぐ日はいつも君が傍(となり)で笑ってくれたよね 「もっと近くで君の横顔見ていたい」 2003

## 「一握の砂」と歌詞との関連性を述べたリンク先

#26366  選択  幸 (ゆき)  2021-07-20 10:18:01  返信  報告

石川啄木の「一握の砂」と歌詞との関連性については、  
[26356]をご欄下さい。

[26363]ロンリィ\_ハートさん





>幸（ゆき）さん[26356] 愛読書「大河の一滴」[26346]

>坂井泉水さんの愛読書について私も思うところがあるのですが、スレが長くなっているので分けて語れないでしょうか。

良かったら、以降にて語って頂ければと思います。

いかがでしょうか？

## Re: 「一握の砂」と歌詞との関連性を述べたリンク先

#26368  選択  YO  2021-07-21 19:29:53  返信  報告

こんばんは、幸（ゆき）さん。

大河の一滴（幻冬舎文庫）、近所の本屋さんで文庫版が売ってたので、  
買って読みました（500円くらい）。

奥付をみると、初版が平成11年（1999年）で私が買ったものが46版で令和2年のものでした。  
20年以上経つけど、いまだに売れてるみたいですね。

生きることをテーマにしてるみたいで、  
仏教みたいな話もあり、そういう読書でした。

お説教ばいところもありますね（笑）。

宇宙の中の地球、その中の日本、  
そこに住んでいる自分、そして今考えていること（生きていること）、  
時間がたてば、それも大河の一滴と。

啄木短歌（一握の砂・悲しき玩具-石川啄木歌集-新潮文庫）も500円くらいで文庫版を買ったので、  
読んだら感想を書きますね。

では。

## ご愛読書

#26369  選択  幸（ゆき）  2021-07-23 09:03:51  返信  報告



[26368]YOさん、「大河の一滴」を読まれたんですね。

>啄木短歌（一握の砂・悲しき玩具-石川啄木歌集-新潮文庫）も500円くらいで文庫版を買ったので、

>読んだら感想を書きますね。

はい、是非よろしくお願いします。

鏡リュウジ著「奇跡の言葉」学研1995年第1刷

は、ルイス・キャロルやアインシュタインなどの一言集を天使の写真付きでまとめたものですね。

見開き3頁目に"「奇跡は起こるものじゃない。起こすもの」  
...この本に集めた言葉はあなたが、あなた自身が奇跡を起こすためのヒントです。サポートです。目の前の常識や現実について頭をたれてしまいそうになったら、どうか本書を開いてください。"と書いてあり、きっと歌詞制作でも同じような気持ちで取り組んでたのではないかと思います。

格言のようなメモの中に、これら「奇跡の言葉」が含まれてるかも??

## Re:ご愛読書

#26370  選択  幸 (ゆき)  2021-07-23 09:05:17  返信  報告

道行めぐ著「恋色のブーケ 花言葉」永岡書店2005年発行  
は美しい花々の写真付きで、とてもお気に入りだったに  
違いありません。

ただ、入手できたのは↓カバーデザインが異なるもの（残念）。

<https://ec.line.me/product/2233086019?mpid=2233086019>

お好きだったカラーの花言葉は、淑女・清純・無垢・壮大な美。

"すらりと伸びた首すじ 白すぎる 肌

汚れを許さない存在感で

きみはぼくを圧倒する  
カラーの花を一本だけ  
手出しできない ぼくのために"pp.26





芳香の鎮静作用が沈黙を誘う、ラベンダーの花言葉は、  
答えをください・沈黙・疑惑。

"ラベンダーの丘で  
あなたと出逢いたい  
はじめての夏を連れて  
風のように微笑（わら）いたい  
ヒルトップテラスに着くまでに  
キーワードを打ち明けるから  
流れる雲に答えをのせて  
あなたは瞳でうなずいて"pp.30

同じくお好きだったはずの ばらの花言葉は、愛・美。  
でも色ごとに少々違って、赤：情熱・真実の愛・夏列な愛、  
黄：ジェラシー、ピンク：ひとときの感動、白：尊敬・純潔  
だそうです。pp.4-5

地方では同じような状況かと思いますが、首都圏移動禁止が  
職場で続いていて、この「心に響くことば展」など全不参加  
で、まさに啄木の"友がみな..."の心境でしたが、ほんの少し  
"花を..."の気持ちに近づけたかも知れません。

## Re:ご愛読書

#26371  選択  幸（ゆき）  2021-07-23 09:06:59  返信  報告

以下は（ネタバレ解禁前の）軽チャークラブからの転載です。

林完次「星を探す本」角川書店 2002年初版  
を読んで観てみました。





星座の探し方のみならず、ギリシャ神話の由来はもちろん、panicの語源（山羊座の▽を表す魚山羊の神パーン）、国内地方や中国における星々の呼び名、数多くの望遠写真に、北斗七星を描いたゴッホ「ローヌ湖畔の星空」などなど、とてもご満悦されたに違いないと思いました。

ふと、月や星、風や土の匂い、虫や鳥の囀りを自分は近頃感じていないなあとも思った次第です、田舎に住んでるのに（汗）。

出版年を考えると、第二章始動頃にご実家の窓から星空を時折眺めて、静かに読まれたのではないかと想い浮かべてしまいます。

中原中也「在りし日の歌・山羊の歌」ぽるぷ出版 1985初版も読んでみました。

展示されてたのは以下ですかね？、複数出版されてるのかも？

『山羊の歌』旧版・角川文庫クラシックス版、1997年

『在りし日の歌』同上。各・佐々木幹郎編

いくつか特に、歌詞のようにリズムカルだなと感じました。

例えば以下など。倦怠（けだい）=悲しみ の読みにも着目。

「山羊の歌」～みちこ～ 汚れちまった悲しみに.....

<http://nakahara.air-nifty.com/blog/2012/03/post-be0f.html>

「在りし日の歌」～永訣の秋～ 月夜の浜辺

<http://nakahara.air-nifty.com/blog/2012/04/post-87fa.html>

作者自身の短い生涯のみならず、数々の身近な『死』との関りが垣間見えますが、もし歌姫様が病床で読まれていたらと思うと、少々やるせないです。勘ぐり過ぎかも知れないですが。

「山羊の歌」～羊の歌～ いのちの声

最後の一行 “ゆふがた、空の下で、身一点に感じられれば、

万事に於て文句はないのだ。”

は格言や諺のような文言を書き記したメモにあったような？

気がするのですが。もし御記憶にあれば m(\_ \_)m。

## Re:ご愛読書

#26372  選択  ロンリィ\_ハート  2021-07-24 22:14:48  返信  報告

幸（ゆき）さん[[26179](#)]

>良かったら、以降にて語って頂ければと思います。

>いかがでしょうか？

幸（ゆき）さん、ありがとうございます。

幸（ゆき）さんの[[26346](#)]、[[26347](#)]

「大河の一滴」に書かれている言葉と、坂井泉水作詞内容との共通性を指摘された文章に感銘いたしました。

マゴマゴしている間に、YOさんの投稿もあり、これから「大河の一滴」、「石川啄木」をお読みになる。

知的チャレンジの意欲を持った方に頼もしさを感じます。

自分の仕事のトラブルにコロナウイルス禍、オリンピック開催も気になり、このところ他にすることが次々と起こる状態でこちらへの投稿が思うに任せません。

## Re:ご愛読書

#26373  選択  ロンリィ\_ハート  2021-07-25 01:25:57  返信  報告



坂井泉水さんの愛読書展示を再確認すると

noritamaさんの[[26196](#)]

>泉水さんの愛読書・筆記用具として展示ケースに

>

>・愛読書 15点

- >①大河の一滴 五木寛之
- >②詩のこころ 竹内てるよ
- >③新・放浪記 野田知佑
- >④星をさがす本 林完次
- >⑤花言葉 恋色のブーケ 道行めぐ
- >⑥迷走するモジリアニの贋作 速水雄二
- >⑦与謝野晶子 詩歌集 矢野峰人
- >⑧エリカ・ジョング詩集
- >⑨愛は束縛 サガン 河野万里子 訳
- >⑩リルケ詩集 生野幸吉 訳
- >⑪ジョンレノン詩集 岩谷宏 訳
- >⑫奇跡の言葉 kagami ryuji
- >⑬夜と霧 V.E.フランクフル
- >⑭無辺世界 銀色夏生
- >⑮ハムレット 福田恆存

それに幸（ゆき）さんの[\[26238\]](#)、以下の愛読書があるのですね。

>独詩人リルケの詩集や著作、岩館マンガ、医師の斉藤モタ先生の本以外で、何が出てくるのかワクワク。

noritamaさんの愛読書調査は私のメモと一致しています。同じく15冊です。

これを見て私はちょっとがっかりしてしまいました。自分に(自分と坂井泉水さんとの関係に)です。  
愛読書の中に自分が読んだことのある本が1冊もない！。

関連を追えば、フランソワーズ・サガンは「悲しみよ こんにちは」1作だけ、そのむかし読んでる。  
幸（ゆき）さんがご存知の“医師の斉藤モタ先生”の本は読んでいないけれど、その弟の北杜夫は私の愛読書。

坂井泉水さんはこれらの愛読書すべてを単に好きで読んでいたとは思えません。  
作詞のための調査研究という意図が大きかったのでは。

(あからさまに言うとは作詞のためのネタ探し)

## Re:ご愛読書



中原中也と室生犀星の書籍が置かれた展示ケースの内容ですが zardofficial の YouTube 映像で分かりました(添付写真)。

それぞれ本を入れる箱と本の二つが並べてあります。

展示ケースの左端は中原中也の「山羊の歌」。

左から箱、次に本。

その次に「在りし日の歌」。

やはり左側から箱、次に本。

(展示ケース内の中央部分)

右端は室生犀星。

「抒情小曲集」の箱が左、本が右。

展示ケース右下は「小景異情」の原稿もしくは色紙です。

幸(ゆき)さん[[26371](#)]

> 展示されてたのは以下ですかね?、複数出版されてるのかも?

> 『山羊の歌』 旧版・角川文庫クラシックス版、1997年

> 『在りし日の歌』 同上。各・佐々木幹郎編


展示品はかなり古いです。どこかの博物館から借りてきた初版本だと思いましたが。

出版年(Wikipedia)

山羊の歌 文圃堂 1934年

在りし日の歌 創元社 1938年

## Re:ご愛読書

#26376  選択  幸(ゆき)  2021-07-29 17:25:49  返信  報告

銀色夏生著「無辺世界」 河出書房新社 1986年初版  
は、イラスト付きのポエムというか小さな物語をいろ  
いろ綴った独特の世界観が感じられる本です。



ちなみに、「無辺世界」とは辞書によると、

①際限のない広い世界。◇仏教語。

②見当外れの方向・所のたとえ。

とのことで、②の意味なのかなあ??と思います。

恋心を表す部分には①の意味も含まれてるかも?

個人的にいいなあと思った部分に歌詞を照射してみました。

"はてしなく手をつないで

君と歩きたい

かぎりあるところまで"pp.12

→♪手を繋いで歩いたら 温もりが伝わる 「時の翼」2001

♪陽だまりの中で手をつないで歩いた 「あなたと共に生きてゆく」2006

♪君と歩き続けたい in your dream 「揺れる想い」1993

"私は 元気じゃない あなたも すきでした"pp.80

→♪うしろ姿は 今日もととても疲かれていた

:

♪今日も あなたのことが いちばん好きでした 「今日も」1996

"超えられないなら くぐっておいで"pp.206

→♪We'll be al right never give it up 「Litsen to me」1993

♪諦めないで We got power of love 「I'm in love」1995

♪まわり道も 意味のある修行 (おしえ) と気づく日が来る 「止まっていた時計が今動き出した」2004

[[26373](#)]ロンリィ\_ハートさん

>[坂井泉水さんの愛読書展示を再確認すると](#)

>[noritamaさんの\[26196\]](#)

> :

15冊の列挙、公式見解ですね^^。

20年ほど前の本で、手に入らないのも多々ありそう。

>坂井泉水さんはこれらの愛読書すべてを単に好きで読んでいたとは思えません。

>作詞のための調査研究という意図が大きかったのでは。

そうですね。今回は特に、「ことば展」ということで、詩などの書籍を中心に（おそらくご家族が）選ばれたのだらうと思います。




[26372]

>自分の仕事のトラブルにコロナウイルス禍、オリンピック開催も気になり、このところ他に

>することが次々と起こる状態でこちらへの投稿が思うに任せません。

ご多忙のようで、また時間を見つけて気長にお願いします。

## Re:ご愛読書

#26381  選択  幸 (ゆき)  2021-08-08 14:06:54  返信  報告

野田知佑著「新・放浪記」本の雑誌社 1995年初版

概要と目次の一部↓

>あてもなくヨーロッパを彷徨った青春時代から現在まで“自由人”野田知佑の自伝エッセイ。

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784938463502>

前半は、「僕はいま、何をなすべきか」。

1964年（東京オリンピックの時）大学を出て二年後も職に就かず放浪のバイト資金を元に、欧州をリュックを背負いギター携えヒッチハイクする青春の旅物語。日本の民謡や演歌を披露しつつ、旅先での人々とのふれあいの数々から、読むと旅行気分も味わえます。

歌姫様ご自身の、歌の道を目指して手探りだったあの二十歳頃を思い出しながら読まれたかも知れません。英文学科卒というものも親近感を持たれたでしょう。

♪自分が将来（あした）どんな風になるのか わからなくて ただ  
以下など、苦難を乗り越えた経験や磨き上げた技も  
なく自信が持てない「Forever you」の境地では。

"「青春とは何ぞや」と髪をかきむしって考え込んで  
いる若い人に、ぼくはこういうことにしている。

「それは、人生で一番やせこけている時期のこと  
である」"pp.92

後半は、「二十五年後の旅」。





カヌーイスト兼ルポライターとして自由な、鹿児島  
でのテント生活を拠点として、アラスカ、オースト  
ラリア、インドネシア、球磨川（熊本）、日方川  
（北海道）、等々、国内外の川や海での魚獲り紀行  
と無駄なダム堰建設の自然破壊問題を論じる内容。

失われつつある清流における少年のような海川遊び、  
自立して人が本来生きることの意味、故郷の日本の  
原風景の大切さなどを、感じられたのかも??憶測  
の域を出ませんが。

初版本を県の図書館から取り寄せて読んでみましたが、  
文庫本化もされてるようですね。

『怪しい探検隊』で野田氏と親交が深かった椎名誠の  
本は愛読してたものの、これが唯一の接点とはトホホ  
です(\* \*)。

## Re:ご愛読書

#26382  選択  YO  2021-08-09 14:05:17  返信  報告

啄木短歌を詠んだ感想です。

新潮文庫

一握の砂・悲しき玩具-石川啄木歌集-

金田一京助編

自分の人生の出来事について思ったことや感じたことを歌にしていたようで、歌には家族、友、女、酒、故郷、病気のことなども出てきていた。

ただし今から100年以上も前の言葉がそのままであり、

翻訳みたいなものも載ってないので、

わからないことも多かったのが正直なところです。

巻末に啄木の年譜が載っていて、彼の人生（生まれから死まで）が書いてあり、

普通の人間（結婚して妻子あり）でもあるが、

苦しい生活の中で作られた歌たちであることが、

少し理解できた。

## Re:ご愛読書

#26384  選択  幸 (ゆき)  2021-08-12 13:49:05  返信  報告



[26382]YOさん

>啄木短歌を詠んだ感想です。

> :

>苦しい生活の中で作られた歌たちであることが

そうですね、内なる想いを『言葉』にしたのでしょう。

[26348]YOさん

>啄木短歌の影響を受けたと思われる曲の歌詞が映し出されるコーナーがありましたが、

>今までよく見てませんでした。

>今日はじっくりと見て、以下の6曲とわかりました。

> :

>遠い日のNostalgia

>出会いそして別れ



以下、上記で教えて頂き[26356]で不明だった分です。  
どれも啄木の「一握の砂」からですね。お好きだったのみならず、歌詞のインスピレーションとしても何十回と読まれたに違いありません。

「あの日に帰りたい」は添付画像ので分かったものの再度借りた本にて確認しました。ちょっと意識してる気がしますが。

-忘れがたき人人 (二 の最後から3つめ) -

"わかれ来て年を重ねて  
年ごとに恋しくなれる  
君にしあるかな"

-忘れがたき人人 (二 の前から6つめ) -

"かの時に言いそびれたる  
大切な言葉は今も  
胸にのけれど

♪あの日言えなかった言葉は今も 「遠い日のNostalgia」

「出逢いそして別れ」は「一握の砂」からは、此処ぞという対応が見つけられませんでしたm(\_ \_)m。

意識なら以下かも??

-忘れがたき人人-

"あそひて  
いたく憎みて別れたる  
友をなつかしく思ふ日も来(き)ぬ"

歌詞↓

<http://www.utamap.com/showkasi.php?surl=B12128>

あと別件ですが、

F.サガン著「愛は束縛」、W.シェークスピア「ハムレット」

は新潮文庫版のようですね。

ちなみに、悲劇「ハムレット」のセリフ

To be, or not to be, that is the question.

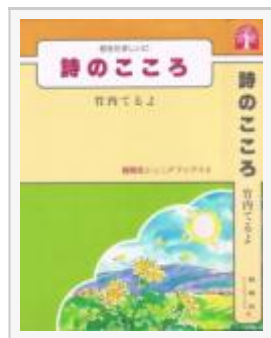
(新潮文庫版の福田恒存訳：生か、死か、それが疑問だ)

は、野田氏が「新・放浪記」にて読んだ本としても紹介されてます。

愛読書は互いに繋がってます。

## Re:ご愛読書

#26385  選択  幸 (ゆき)  2021-08-14 11:39:38  返信  報告



竹内てるよ著「詩のこころ -若きたましいに-」

創隆社ジュニアブックス6 1982年初版

ネット中古すら無く、県内の図書館で唯一所蔵があり  
取り寄せて読んでみました。

裏表紙に記載された概要：

"「美しいものを美しいと感じ、悲しいものを悲しい  
感じられるならば、あなたも立派な詩人です」と語る

著者が若者に贈る、詩のある人生の喜び……。高村  
光太郎や草野心平らのすぐれた詩人たちとの思い出  
や、詩に彩られた生活を回想しつつ、若者に、詩を  
味わい、そして自ら詩を書く楽しさを伝える。"

幾多の苦難を経た77歳時の著書、竹内てるよ とは↓

<https://kotobank.jp/word/%E7%AB%B9%E5%86%85%20%E3%81%A6%E3%82%8B%E3%82%88-1648587>

<https://www.city.shimanto.lg.jp/life/zinken/columns/columns118.html>

学生の頃に読まれた後、作詞制作していく覚悟を決  
めてから再び参考にされたと思われる、歌詞の原点  
のようなものを垣間見た気がしました。

以下、いくつか気になった部分を拾い上げてみます。

→は解釈で、少々強引かも知れませんがお許しを。

「はじめに」

"私は、詩を生涯の仕事として行くにつれて、たのしい一つの望みをもちました。終戦後の、...このような世の中になってしまつては、何をもって、この荒れはてた人の世をやわらげ、光を与えることができるのであろうか。...私なりのささやかな考え方からいたしますと、詩の分かる、詩を愛する人たちを大勢つくつて、そのやわらぎによって世の中を明るくして、やがて、幸せにしたいということでありました。...私は、将来、日本を担つて行かれるあなたたちに、この考えをもって、この書を贈るつもりであります。あなたたちの一人ひとりが、詩の好きな、詩を愛する人々になってくださることによって、けつして、残忍なことや、人間同士で血を流すようなことはしないにちがいない、と信じられるからです。...私はこの書に、人生を愛してもらつて書くことを書きました。...できるだけみなさんに近くありたいと思いました。"

→ 聴き手に寄り添う歌詞、その根底は『愛』だと常に意識されたことに繋がるのでは。

「大きな宇宙と小さな自分」 pp.24-25

"幼いときには、人はだれでも、世の中のものごとすべてが、自分のためにあると思つていました。それが、しだいに、失望や期待はずれを経験することによって、自分という、小さくて弱い存在を、はっきりと、この大きい宇宙の中で知つてゆくのであります。...まことの一個人となることに、試

作も、出発点をおいていることは、他の芸術とちがいはないのであります。ひとりぼっちを、よく自分の中に認識し、そのさびしさをしっかりとかみしめて、そこを起点として試作してみましよう。"

「心のひらくとき」 pp.30

"心のひらくときは、まことの孤独を知って、それから出発して、人生を、また人間を愛することになってゆくときです"

→ 失恋歌が多いのも、こうした出発点ゆえかな。

「詩の訴えるもの」 pp.44-48

"一つは、主観的な詩、つまり、自分の訴えをもった詩であり、いま一つは、訴えをもっていない詩になります。...ながめて書いています。"

「詩を書く立場」 pp.50

"小石でいいのです。海岸の小石でいいのです。自分で見出したものであれば、どうして、宝石でなくてはいけないということがありましよう。宝石もみな、宇宙にある、一つの石ころから生まれています。それをみがくことによって、光り輝くものとなっていくのですから、みなさんもその発見のたのしみをもってください。"

「冬をつらぬく -高村光太郎-」 pp.52

"先生の詩には、はっきりとした結論を、一步手前で、人に強制なされないところがあります。結論は十分に判明されていながら、それを言い切ってしまわれないところ、つまり、人間各人の自由を尊重されているところがあります。"

「日常のなかの詩 -神保光太郎-」 pp.129

"詩を作ってきた自分のわずかな経験によりますと、

何か一つ刺激がないと、書き出せないような気がするのですが、このありふれた日常性を、こうして型にしてゆくことも、やはり一つの才能ではないかと考えることです。"

→ 余り訴えず、日常の言葉で歌詞を綴ってましたね。

「童心をうたう -サトウハチロウ-」 pp.137-144

"歌われる歌というのは、文字をとおして読まれる詩とちがい、過ぎてゆく言葉を耳でとらえて、すぐ分かるものでなくてはなりません。そうかといって、あまり日常語になりすぎてしまっても、詩としての風格がなくなって、下品になってしまいます。...

ちいさい秋みつけた

♪だれかさんが だれかさんが

♪だれかさんが みつけた

この文字などは、重ね方の自然さと、その明るさで、上手に使われています。重ねことばは、まことにむずかしいものでありまして、下手に使いますと、くどくなってしまう。また、くどくないときには、作者のねらってる効果が出ないときもあります。"

→ 歌詞の繰り返し、これら吟味されたでしょう。

「天才の輝き -宮沢賢治-」 pp.161-163

"病 (いたつき) のゆゑ (え) にも くちん

いのちなり みのりに棄 (す) てば

うれしからまし

というのがあります。...あくまでも農作物の肥やしになってゆくことは、残念でない、と言っていて、農業を指導していた作者の、前向きの姿勢をよく表しています。...あくまでも、農民のために一生を終わってゆく、この作者のけなげで、そして勇気ある生き

方を、私たちは、試作を通してはっきりと知ることができます。"

[https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/about\\_kenji/index.html](https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/about_kenji/index.html)

→ 賢治は享年37才、確か？お好きだった作家の一人。

音楽に身を捧げた歌姫様もほぼ同じく短い生涯（涙）。

お盆でもあり、心よりお祈り致します。

「詩を生きた人々」 pp.196-200

"詩を書いた人ばかりが、詩人ではありません。...

形の上で詩を書いた人でなくても、詩の精神をもって生きた人々は、たくさんいるのです。...多くの人々の生き方を知り、その中から、詩にふれた心の姿や、生き方をまなぶことは、ひとり詩だけの問題ではなくて、詩以前に詩を知る、詩をもつということでしょう。"

→ 読書家であったのも、様々な生き方を知るため。

「詩とところ」 pp.209

"ものを書くということは、心のトレーニングだからです。健康のためのスポーツでは、常にトレーニングが必要なように、心の健康を保つためにも、心のトレーニングが必要です。...いつも、小さいノートと鉛筆をおもちなさい。...詩をつくる練習にもなりますし、また自分の心の成長の記録にもなります。"

→ 身近にある紙切れに日々書き綴ってましたね。

最後に綴られた著者の詩「流れと口笛」 pp.248-250

"流れは 深い山に生まれ来て"

うたをうたいながら 谷かげを下りた

そのひとときに 私たちは ゆき合った

あなたのぬれた手のあたたかさ

流れは 花をうかべつつ 下りてゆく

やがて 一つの河となる  
私はきく 不思議な 水おとを  
決して 口笛を吹かないあなたの中に  
流れは もはや 山にかえらない  
そのかなしみが また口笛を吹かせない  
若き日は やがて逝ってしまう  
あなたの中に...  
流れも 再び山にはかえらないであろう  
深い いのちの 花のかけよ  
私は見る たしかなよろこびを  
まこと生きることを知るあなたの中に  
私は生きる 深き愛をもって  
きょうまた 燃えて輝く あなたの中に"

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26386  選択  ロンリィ\_ハート  2021-08-15 13:06:08  返信  報告



オリンピックのテレビ放送をついつい見てしまい、ほかのことに気が移って、ご無沙汰してしまいました。

幸（ゆき）さん、坂井泉水愛読書を次々とお読みになっているんですね。今の私には驚きです。

石川啄木の作品・評論をこれまで一つも読んだことがなく、断片的な知識だけです。

その私でも知っている歌は以下の3つぐらい(もちろん好きな歌)です。

はたらけど  
はたらけど猶(なお)わが生活(くらし)楽にならざり  
ちっと手を見る  
  
友がみなわれよりえらく見ゆる日よ  
花を買ひ来て

妻としたしむ

ふるさとの山に向ひて

言ふことなし

ふるさとの山はありがたきかな

泉水さんが好んでいたという歌は啄木の代表作とされているもので、  
啄木を紹介する時によく使われる歌です。

また3行に分けるというスタイルが独自のものだったようです。

以下、町田市民文学館ことばらんど 啄木に関する泉水さんの展示文(5行)  
( WEZARD TV #22 6:26 )

落ち込んだ時は、石川啄木の

「友がみな われより偉く見ゆる日よ 花を買ひて妻としたしむ」

という短歌が頭に浮かんでくるんです。

もちろん私は独身なので夫はいませんが「この気持ちわかるなあ」

と不思議と気持ちがさっぱりして私にはバイブルみたいな存在ですね

一坂井泉水

以上を読んで泉水さんはどの立場でこの歌を思うのだろうと迷いました。

私でしたら啄木と同じ男性ですし、友に劣等感を感じる詠み人の立場です。

若いころ感じた劣等感がよみがえるようで、ちょっといやな気もしてきます。

誰でもそうなのだと思っていたら、泉水さんは“夫はいませんが” とことわり  
“気持ちがさっぱりして” とおっしゃる。

これって“妻としたしむ” の妻の立場に自分を置いているように見えます。

女性なら普通なんではないでしょうか？、私には意外です。

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26387  選択  ロンリィ\_ハート  2021-08-15 13:56:33  返信  報告





私にとって、短歌も啄木も何年も忘れた存在でした。  
少々関心のあった若いころ、石川啄木に対してあまり良い印象を持っていませんでした。

坂井泉水さんが石川啄木の短歌を好んでいたとなると(さらに幸(ゆき)さんまで)、書きづらいのですが、  
幸(ゆき)さんご紹介の啄木ワールド[26356]

<https://6713.teacup.com/zard/bbs/t17/l50>

moonさんのBBSですね。

ここに私としては勇気づけられる文面がありました(以下 6行↓)。

[5]Re:啄木ワールド 投稿者:moon 投稿日:2011年1月27日(木)00時59分45秒

幸さん、チェルシーさん、こんばんは。

啄木に関するとても興味深いお話をありがとうございます。

昔のことなんですけど、実は私は啄木が金も返さず嘘つきで、性的にだらしない「ろくでなし」だということを知って、以来「啄木アレルギー」になってしまったんです(笑)。

以上の言葉は、私が過去に受けた石川啄木イメージとほぼ同じです(笑)。

“ことばらんど”で石川啄木の講演を行った池田功さんはどのように考えているのでしょうか。  
(写真は 石川啄木著作作品 展示ケース)

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26389  選択  ロンリィ\_ハート  2021-08-15 16:59:32  返信  報告

YOさん、今回、石川啄木の短歌に言及するにあたり、ついこの間まで何の関心もなかった石川啄木の著作作品を入手しました。

Amazon Kindle の「石川啄木完全版: 全作品+関連本+写真・解説」Kindle版 価格 99円  
原文を確認する必要性に迫られたためです。

これには「一握の砂」等がそのまま載っているだけです。



YOさんの[\[26382\]](#)

>ただし今から100年以上も前の言葉がそのままであり、

>翻訳みたいなものも載ってないので、

>わからないことも多かったのが正直なところです

私も同様の状態です。

そこでもう一步踏み込んで、





“ことばらんど”で石川啄木の講演を行った、池田功 大先生の「石川啄木入門」を入手しようかと思えます。この本の電子書籍はありません。

新品 ¥1320

Amazon中古 ¥500前後から

Rakuten中古 ¥600前後から

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26390  選択  YO  2021-08-15 20:29:25  返信  報告

ロンリィ\_ハートさん、こんばんは。

> YO[\[26382\]](#)

> >ただし今から100年以上も前の言葉がそのままであり、

> >翻訳みたいなものも載ってないので、

> >わからないことも多かったのが正直なところです

>

> 私も同様の状態です。

> そこでもう一步踏み込んで、

> “ことばらんど”で石川啄木の講演を行った、池田功 大先生の「石川啄木入門」を

> 入手しようかと思えます。この本の電子書籍はありません。

>

> 新品 ¥1320

> Amazon中古 ¥500前後から

> Rakuten中古 ¥600前後から

>

池田先生の「石川啄木入門」を読みましたら感想をお聞かせ下さい。

私は坂井さんが生前FC会報16号（2002年）でお勧めしていた本を昔買ったので、  
今日本棚から引っ張り出して読み始めました。

星の王子さま



サン＝テグジュペリ作

内藤 濯訳

岩波少年文庫

当時の値段 6 4 0 円

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26391  選択  幸 (ゆき)  2021-08-16 11:43:16  返信  報告

[26387]ロンリィ\_ハートさん、早々のレスありがとうございます。

>少々関心のあった若いころ、石川啄木に対してあまり良い印象を

>持っていませんでした。

> :

>以上の言葉は、私が過去に受けた石川啄木イメージとほぼ同じです(笑)。

歌姫様がどう感じられたかが主眼で、啄木の人間像には余り興味が無いというか、  
気にしていないというか、敢えて説明すると、「大河の一滴」↓のように思う次第  
です。

[26346]から再引用

"だが善き人もいれば悪しき人もいる、...あるときは善意を、あるときは悪意を露出させる不確かであやうい存在なのではあるまいか。"

"汚れた手から美しい音楽が紡ぎだされることもある。そういう残酷な真実みたいものが歌の背後にもひそんでいるのだな..."

[26389]

>"ことばらんど"で石川啄木の講演を行った、池田功 大先生の「石川啄木入門」を  
>入手しようかと思えます。この本の電子書籍はありません。

[26384]にて未解明な、「出逢いそして分かれ」の歌詞部分に対応する詩を見つけたら是非教えて下さいm(\_ \_)m。

[26390]YOさん

>私は坂井さんが生前FC会報16号（2002年）でお勧めしていた本を昔買ったので、  
>今日本棚から引っ張り出して読み始めました。  
>星の王子さま

ご愛読書、泉水ちゃんを偲んで読み直すのも良いかも知れませんね。

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26392  選択 YO 2021-08-16 23:23:23 返信 報告

幸（ゆき）、こんばんは。

> [26390]YO

> >私は坂井さんが生前FC会報16号（2002年）でお勧めしていた本を昔買ったので、  
> >今日本棚から引っ張り出して読み始めました。  
> >星の王子さま

>

> ご愛読書、泉水ちゃんを偲んで読み直すのも良いかも知れませんね。

星の王子さま、読みました。

ずいぶん久しぶりに読んだので、内容をすっかり忘れてました。  
ここでは私の感想よりも、坂井さんの当時のメッセージを載せます。  
「とてもポピュラーですが、かなり前からインタビューでも答え  
ているようにサン・テグジュペリの「星の王子さま」をオススメ  
します。かなり頭の良い人でも感動するはず（笑）

今日は幸（ゆき）さんお勧めの「ハムレット」新潮文庫を買いました。  
カバーは坂井さんのものとは異なります(Premium Cover 2021となっています)。  
シェイクスピアを初めて読みます。  
さてどんなお話か。

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26393  選択  幸（ゆき）  2021-08-17 18:09:52  返信  報告

[26392]YOさん、こんばんは。

- > 星の王子さま、読みました。
- > ずいぶんと久しぶりに読んだので、内容をすっかり忘れてました。

十年以上前の手前味噌ですが、以下ご笑覧頂けたら幸いです。

「星の王子さま」との関連？

<https://6713.teacup.com/zard/bbs/t14/l50>

- > 今日は幸（ゆき）さんお勧めの「ハムレット」新潮文庫を買いました。
- > カバーは坂井さんのものとは異なります(Premium Cover 2021となっています)。
- > シェイクスピアを初めて読みます。
- > さてどんなお話か。





すみません、お勧めという訳でなく、大きさやカバーの絵柄等から新潮文庫であることの情報だけでした。

読んでないです。

どうも小説は苦手で、ストーリーを追うのに精一杯で、大量の文章の何処に歌姫様が何を感じられたのか？想像しづらく敬遠気味なんです。

なので、お読みになられたら、ご感想など聞かせて下さい。

## Re:ご愛読書

#26394  選択  YO  2021-08-18 23:05:58  返信  報告

こんばんは、

- > すみません、お勧めという訳でなく、大きさやカバーの絵柄等から新潮文庫であることの情報だけでした。
- > 読んでないです。
- > どうも小説は苦手で、ストーリーを追うのに精一杯で、大量の文章の何処に歌姫様が何を感じられたのか？想像しづらく敬遠気味なんです。
- >
- > なので、お読みになられたら、ご感想など聞かせて下さい。
- >

半分くらい読みました。

読み終わったら感想を書きます。

サガンの「愛は束縛」ですが、

本屋さんに聞いたら、絶版とのこと（笑）。

なのでAmazonで古本（送料込みで350円）があったので、溜まっていたポイントを使い無料で入手。

会報21号のQ&Aではファンの質問「好きな作家は誰ですか？」に、

F.サガン、と答えている。このころはそうなのかな。

あとZARD関係者の名前をひょんなことで知りました。





某俳優（故人）のNEWアルバムを買ったら、

なんと、アートディレクション&デザインとして、

鈴木謙一さん（スズキケンイチデザインファーム）の名前があり驚きました。

鈴木さん世間（あの業界）に認められてるようですね。

## Re:ご愛読書

#26396  選択  YO  2021-08-19 21:23:54  返信  報告

読んだ感想です。

新潮文庫

ハムレット





シェイクスピア

福田恆存（ふくだ つねなり）訳

内容は難しくありません。  
読むだけなら簡単なお話です。  
翻訳の言葉も非常に分かりやすいものでした。  
普通の小説と違い、演劇の脚本みたいで文字も少なく、  
一部セリフが長い所もありましたが、  
面白いというよりも、これが400年以上前（江戸時代初期）のものであり、  
現代でも上演され、読まれているということに、凄さと歴史を感じます。

但し、訳者によると、  
日本語のシェイクスピアでは役者の手にわたるまえ、  
すでにその美の九十パーセントは死んでおります。  
とのことでした。  
それを補うものがカブよいリズム、早く喋れるということ、だそうです。  
では。

## Re:ご愛読書「リルケ詩集」など

#26400  選択  幸 (ゆき)  2021-08-25 17:03:28  返信  報告

[26396]YOさん、「ハムレット」のご感想など、ありがとうございます。  
あらすじは以下のようですね。

<https://bungakublog.com/shakespeare-hamlet-top>

<https://note.com/fufufufujitani/n/nabb912dfada5>

<https://www.shinchosha.co.jp/book/202003/>

皆様

ご愛読書、今回でラストになるかと思えます。毎度長文にてm(\_ \_)m。

リルケ著、生野幸吉訳「リルケ詩集」 白凰社 1967年初版

1981年出版の新装版第5刷を近隣図書館から取り寄せて読みました。  
内容のみならず、お誕生年の初版で更にご興味を持たれ、学生の頃に  
読まれたのではないかと思います。岩館マンガにリルケのことが

書かれて知ったのがキッカケかも？。表紙は展示されたのと同じ↓。

[https://kitaguchi-gyosei.com/wp-content/uploads/2015/05/41TA0QgFR2L.\\_SL500\\_.jpg](https://kitaguchi-gyosei.com/wp-content/uploads/2015/05/41TA0QgFR2L._SL500_.jpg)

G.リルケとは：

" [1875-1926] ドイツの詩人。プラハ生まれ。欧州諸国を遍歴し、生の本質、人間実存の究極を追求し続けた。詩集「時禱(じとう)詩集」「ドゥイノの悲歌」「オルフォイスに捧げるソネット」、小説「マルテの手記」など。"

<https://www.weblio.jp/content/%E3%83%AA%E3%83%AB%E3%82%B1>

「リルケ詩集」の主な目次：ほぼ年代順、後期は第1次世界大戦時期

形象詩集(1902-1906)、時禱詩集(1899-1902)、新詩集(1907-1908)、後期詩集(1913-1923)

以前に読んだ、新潮文庫の富士川英郎訳とは収録された詩が若干違ってます。100年ほど前に書かれた詩で、時代背景、比喩、信仰心など、良く分からないながら、以下を歌詞に照射してみます^^。

「形象詩集 -しずけさ-」

"きこえるか、愛する人よ、わたしは双手（もろて）をあげる-  
きこえるか、このざわめきが...

：

わが吸う息、吐く息につれ  
星々は昇って沈む。

：

わたしは遠い天使の  
手首を見分ける。

それなのに、わたしが想うおまえだけ

おまえだけがわたしに見えない。"pp.14-15

→♪幸せはすぐそばにあるのに 近くて見えない 「Take me to your dream」

「形象詩集 -秋-」

"木の葉が落ちる、木の葉が落ちる、まるで遠くから降るかのように、  
大空で、いくつものほらかな庭が枯れたかのように。

：



われわれはみな落ちる、見よ、この手も落ちる。

：

しかしひとりのひとがあって、  
この凋落を、かぎりなくやさしく両手のなかに受け止めている。"pp.29  
→♪君の悲しみも 全部受けとめたい「かけがえのないもの」

訳者が綴った「リルケの人と作品」↓から、この詩集を垣間見ると、  
詩人としての遍歴を経て『悲歌』に辿り着き、この書を読まねば理解は  
難しいと（以前もそう強く思ったのですが）改めて感じます。きっと、  
泉水ちゃんはこの解説的付記を読まれて、魅了されたリルケの『悲歌』  
に後々挑戦したに違いありません。

"...ロシアの無限定な要素的な広大さ、素朴な信仰心、神・民衆・自然  
の力強い応和、そして創造の日のような始原性は、リルケにとって故郷  
と神との発見を意味したと言ってもよいでしょう。こうして、『時禱詩  
集』の第一部...の数編が書かれました。...また、パリでの生活は、  
ロダンの創造の場に立ち会うことによって、リルケに「手仕事」として  
の芸術を学ばせることとなります。それは、言葉による造形そのもので  
ある見事なロダン論を生み、また『形象詩集』から『新詩集』にいたる  
作品のなかで、かずかずの、いわゆる「事物詩」を成立させました。...  
『時禱詩集』における無限定にゆたかなメロディーが、内的造形によつて  
自己の真実に達したのだとも言えます。しかもそれはまた同時に、  
のちの『悲歌』で歌われる、可視を不可視に変える、世界の完全な内面  
化という仕事を意味していました。...みずから「物を跡形もなく食いつく  
してしまう」という彼の「法外な貪欲」は、当然、「物」そのものによつて、  
存在そのものによつて復讐されるでしょうし、リルケに魅了された読者にも  
同様なことが起きるのが想像されます。...ところで、  
『新詩集』における「事物詩」の成功にも、『マルテの手記』完成の  
よろこびにも、詩人は案居できず、彼は虚脱と絶望のうちにあらたな  
大きな肯定への道をあゆもうとします。胎動していたのは、『ドゥイノ  
の悲歌』であり、...それは詩「転回」に歌われているように、「目

の仕事」から「心の仕事」への転回、「世界内在空間」とみずから名づける彼独特の大きな詩的空間からの負託でした。..."pp.181-189

以下は更に長々となりますが（笑）、よろしかったらお読み下さい。  
手前味噌ながら、リルケの真髓と言うか、富岡近雄訳「ドゥイノの悲歌」における（矛盾する歌詞にも似た）対立的協働による「積極的無常観」を述べてます。

坂井さんとリルケ

<https://6713.teacup.com/zard/bbs/t9/I50>

リルケ著、高安国世訳「若き詩人への手紙・若き女性への手紙」新潮文庫も、詞人として女性として読まれたに違いありません。↓はメモ的抜粋。

坂井さんとリルケ其の二

<https://6713.teacup.com/zard/bbs/t13/I50>

過ぎゆく月日や物事、生きとし生ける全てが、弱く哀しく儂い存在ではあるけれど、だからこそ、かけがえなく、今この時を大切に愛しく想い、特に挫けそうになっても前向きに生きていこうとするZARD楽曲の歌詞と、上記のリルケの「積極的無常観」は通じるものがあるように思えてなりません。特に、第二章の2000年以降。

## Re:ご愛読書

#26401  選択 YO 2021-08-25 23:21:54 返信 報告

読んだ感想です。

愛は束縛（原題：LA LAISSE）

サガン

河野万里子

新潮文庫

舞台はフランス、話の中で音楽のことも扱っています。

内容はけっこうドロドロしているところもあるので、

面白いかもしれません。

訳者あとがきより、  
愛は束縛-この言葉を、あなたは思うだろうか。

考えさせられました。

## Re:ご愛読書

#26406  選択  幸 (ゆき)  2021-08-27 12:21:40  返信  報告

[[26401](#)]YOさん、「愛は束縛」のご感想、ありがとうございます。

原題の意味は、「犬のリード」とのこと。

あらすじは、こんな感じ↓のようですね。

<https://blog.goo.ne.jp/marifle1010/e/414d2362993ea156115f33f14d8b1534>

♪現在 (いま) どこにいるの 昨日誰といたの

♪そんな言葉で 縛っていた

「見つめていたいね」

♪本当に君を愛してるから

♪もっと自由にしてあげたい！

「Good-night sweetheart」

自由に愛し合えたら、いいなあと思われたのかな？

## Re:ご愛読書 石川啄木 について

#26409  選択  ロンリィ\_ハート  2021-08-28 17:11:02  返信  報告

ご無沙汰しておりました。

書籍「石川啄木入門」についてですが、著者の池田功先生は石川啄木の短歌と歌謡曲(J-ポップ)との関連をかなり広範囲に研究されており、この本にそれを発表しています。



#### 歌手名と関連短歌の数

1.石原裕次郎 3首

2.大津美子 1首

(倍賞千恵子、二人は同じ曲を歌っています)

3.橋幸夫 1首

4.谷村新司 6首

5.森昌子 3首

6.薬師丸ひろ子 3首

7.新井満 1首

(他に多くのオペラ歌手)

8.井沢八郎 2首

9.尾崎豊 2首

詳しく書くとあまりに長文になるので避けますが、このことは坂井泉水作詞についてもいずれ文章として発表されることを意味していると思います。

石川啄木の悪評について。

「啄木への批判を受けて」と題して

①借金について

②働いていない

③親不孝

以上3項目について啄木をかなり擁護されています。

男女交際についての言及がないのが気になりますが、これらの悪評は特に有名人の場合、あとから尾ひれが付きやすい事柄です。

私も具体的事実を知らないでイメージを持っているだけなので、石川啄木＝不誠実は、イメージ先行になっていると思います。

写真は「ことばらんど」で講演中の池田先生だと思います(背景から)。

河北新報より

<https://kahoku.news/articles/20210703khn000036.html>

パスワード :

編集

削除